

# 普及現地情報

発信年月日:令和7年(2025年)7月16日  
所属名:高島農産普及課  
番号:H25011  
発信者名:三溝、大崎



## ぶどう・柿・オリーブコースの年間栽培体験カリキュラム(援農隊)、始動!

農事組合法人マキノ町果樹生産組合と南深清水FF倶楽部は、外部の人材が年間通じて栽培体験するカリキュラム(以下、援農隊)のオリエンテーションを6月21日(ぶどう)、28日(柿)、7月2日(オリーブ)にそれぞれ開催しました。当課は援農隊の構想段階から両組織と綿密な調整を行うとともに、オリエンテーション当日は参加者に向けて援農隊の趣旨や栽培方法等について説明しました。

高島市内の果樹産地では、かねてから人手不足が深刻な課題となっていました。これを受けて当課では人手不足の解消と関係人口の増加を目指し、果樹園に人を呼び込む方法として援農隊を検討し、産地と調整した結果、モデルケースとして(農)マキノ町果樹生産組合(ぶどう)と南深清水 FF 倶楽部(柿・オリーブ)が取り組むこととなりました。両組織が共同で援農隊の参加者を募集されたところ、全コースあわせて市内外から合計9名の応募がありました。

参加者は、本格的に果樹栽培を目指す方や農地がないが栽培体験したい方、移住してきて地域の方と農業を通じて交流を深めたい方など、果樹に対する思いが様々な方々です。

当課は援農隊参加者と受入農業者の双方がやりがいを感じながら、カリキュラムが順調に進められ、産地の活性化に繋がるよう支援してまいります。



各コースのオリエンテーションや作業説明  
(上:ぶどう、左下:オリーブ、右下:柿)

援農隊募集チラシ